



● グローバル人材育成で大活躍！ —— 宮城県七ヶ浜町

はじめに…

七ヶ浜町は松島湾や太平洋に囲まれた半島状の東北一小さな町です。

町の国際交流の歴史は古く、1889年に町内の高山地区に外国人避暑地が開設されたことが始まりです。姉妹都市はアメリカマサチューセッツ州のプリマス町で、1990年10月に姉妹都市を締結、以降30年間毎年交互に訪問し交流を深めています。1993年7月には町の国際交流・芸術文化の拠点施設として、七ヶ浜国際村がオープンし、CIRは国際村に勤務しています。

2016年度から町の主要な施策としてグローバルな人材を育成するため、国際村と町教育委員会がそれぞれの分野でCIRやALTと共に協力し事業を進めています。国際村は、英語が話せるだけでなく、お互いの国の伝統文化を踏まえ、理解・尊重しながら、自分の意見と主張ができるグローバルな人材育成を目的に、歴代のCIRが試行錯誤しながら日々取り組みを行っています。

子どもたちに 生きた英語に触れる機会を

グローバル人材育成プログラムの中でもCIRが特に力を注いでいる事業が、町内の各幼稚園・保育所への訪問です。各園に月2回CIRが訪問し、園児たちと交流を図っています。歌やダンス、ゲームを通して英語に慣れ親しみ、小学校から始まる英語の授業への橋渡しとなるよう、園児たちの心を掴むような楽しい英語のレッスンを行い、先生方にも好評を得ています。初めは恥ずかしがっていた園児たちも、1年が終わる頃には、英語で元気よく挨拶をし、質問にも英語で答えるまでに成長します。まさにCIRの努力の賜物です。

また、未就学児を対象に、英語の歌に合わせてダンスをしたり、日本語と英語で絵本の読み聞かせをする「英

語でDancing]や、小学校低学年までを対象に、ハロウィンやクリスマスなど季節のイベントを通してアメリカ文化を体験し、親子で異文化に触れてもらうことを目的に「国際交流員とあそぼう！」を開催しています。



親子でDance！

「With コロナ」の新たな取り組み

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、予定していた事業が次々と中止になる中、CIRはソーシャルディスタンスを保ち、コロナ禍でも可能な事業を考え、アウトドアでも行えるアメリカの子ども達に人気のあるワークショップ体験「American Summer & Fall Festival」や、少人数でも開催できる「English Book Club」を企画しました。「English Book Club」は参加者が同じ本を読み、感じたことをディスカッションするアメリカで流行のBook Clubをヒントに始めました。企画段階では、盛り上がるディスカッションをイメージしていましたが、発言することをためらうのが日本人…。CIRは自らがたくさんのお話をし、場を盛り上げ、参加者が発言しやすい雰囲気作りを工夫しながら進行了しました。



タイダイ染めを教えています

Zoom での研修を再開しました。中でも好評だったのは、13 時間の時差を解決するため、普段は夜に行っている研修を朝に変更し 2 日間実施したプリマス町の皆さんとのオンライン交流会でした。1 日目は七ヶ浜町長やプリマス町の首長を始め、町に表敬訪問をしたことのある大人の方々と、2 日目はプリマス町の青少年たちと、お互いに興味があることを質問したり、自宅のキッチンやプールなどを見せてもらうなど楽しい交流会となりました。この研修

で町の青少年たちが、「英語をもっと勉強したい!」「将来絶対外国に行きたい!」という夢や目標を持ってくれたことは、グローバル人材育成事業がまた一歩前進した証となりました。

これからも…

さまざまなアイデアを持つ我が町自慢の CIR。世の中の状況が日々変化する中でも、「今できることはないか…」という町の要請にも柔軟に対応し、事業を展開することができました。これからも多くの町民と関わり、グローバルな人材の育成や町の発展に尽力していただくことを期待しています。

新たな姉妹都市交流の形

CIR は姉妹都市交流の訪問や研修の企画、準備から携わり、お互いの町の担当者を繋ぎ、交流を成功させるために尽力しています。訪問中には両町の首長や教育関係者等との懇談会や交流パーティーの場で、大きなプレッシャーのかかる中、それぞれの思いを汲み取りながら同時通訳という大役を果たしています。

2020 年は、秋に予定していたプリマス町への訪問が中止となりました。しかし、訪問を楽しみにしていた町の青少年達にアメリカ文化やプリマス町のことを知ってもらいたいという思いから、オンラインを活用した



プリマス町の皆さんと Zoom で交流

